



待望の目屋溪谷清流公園を 6月11日にスタート! カヌーで2020東京オリンピック 聖火リレー!



目屋溪谷清流公園完成予想



本年も、JAつがる弘前熊谷専務の新年表敬を受け、引き続きスクラムを組み村のため頑張っています。



本年も、ブナコ(株)倉田社長に新年の表敬をいただきました。今後、世田谷区との交流事業に取り組んでまいります。



本年も、新福舟藤田社長が村元さんと新年の表敬にまいりました。多くの村民を雇用していただいておりますこれからも連携してまいります。

「世界遺産と水源の里」白神源流の村づくりは「政策の継続」から

西目屋村が元気だ。県内最少人口の村にもかかわらず、聞こえてくるのは明るい話題ばかりで、津軽ダムを周遊する水陸両用バスが大変な人気を博している『ダムツーリズム』などはその最たる例と言えるだろう。また、ダム建設工事関連業者の宿舎用地を活用した『子育て定住エコタウン』事業や、旧西目屋小学校のブナコ工場への転用など、既存ストックを生かした村づくりにも積極的に取り組んでおり、今後さらに進行する超高齢社会を生き抜く地方自治体の一つのモデルケースとなっている。子育て支援関連施策や学校教育の事務委託など、全国的にも評価の高い施策を打ち出し続ける関和典村長に、村づくりにかける思いを伺った。

◎聞き手: 日刊建設青森 編集部長 町田大祐

歴史を知り、眠る資源を掘り起こす

春
対
新



地域振興策が奏功

——村長に就任されてからこれまでを振り返って

関村長 西目屋村は1370人という県内最少人口の村です。陽の当たらない辺境の村と言われて久しい訳ですが、村民が自信と誇りを持ちながらこの地域で生懸命生きている姿を皆さんに見せたい。そう考え、津軽ダム

高齢化率が県内唯一2年連続減

建設の機会をチャンスと捉え、さまざまな地域振興策を進めてきました。

平成18年に私が村長となつてからまず始めたのが『子供とお年寄りに優しい村づくり』。これをスローガンにして推し進め、子育て支援に力を入れてきました。医療費は18歳まで無料、保育料は完全無料、さらにさまざまな予防接種の無料化などを進めてきましたが、それにより沢山の人が西目屋

村に移住してくれました。

若い夫婦の方も多く定住していたいたおかげで今では小学校の生徒数が増え始めています。その結果、県内40市町村で唯一2年連続高齢化率が減少しているほか、全国に926ある町村の中で、人口の社会増率が上から4番目という高い数字になっています。

故きを温ねて新しきを知る

林業にもう一度光を

——その施策の一つに子育て定住エコタウン事業があります

関村長 津軽ダムのワークステーション(作業員宿泊施設跡地)を活用した事業ですが、36区画分の土地を無償提供し、移住・定住希望者に家を建てていただく。県内自治体の住宅造成地はどれも苦しいですが、おかげさまで現在は24区画ほどにめぐつていきます。

私が平成18年に村長選に出馬した時に、地域の人から「このままだと子供が居なくなる」と言われました。その頃はほぼ複式学級になりかけていた頃で、村内の子供達だけではクラスを構成できなくなっていました。そのような状況で「早期に合併するべき

今の時代、自治体の大きな課題と言えば人口減少問題と超少子高齢化問題ですが、この二つにいち早く取り組んできたことが、いい形となって表れてきています。思い切った地域振興策が功を奏したと言えるのではないのでしょうか。

だ」という声も多く聞かれるようになっていましたが、合併するのではなく、自分達で工夫し、自分達の地域を良くして行こうというのが私の考えでした。

さらに、西目屋村は非常に政争の激しい村で、選挙という真二つに分かれ、逮捕者が必ず出るという有様でしたので、これも変えなければいけない。変えるためには外から人を入れなければいけない。外から人が入ってくることによって良い刺激になり、自分たちの考え方や生き方を見直す良い機会になればと考えたのも大きいです。

——この事業では木質バイオマスを活用した道路融雪も特徴の一つです

関村長 まさに時代は今、地方創生。私の地方創生のキーワードは「子育て

村長の部屋

新春特別対談
日刊建設青森新春特別号掲載

自信と誇りのもてる地域へ

支援「若者定住」自然エネルギーの活用」の三つです。この三つを全部絡にしたのが子育て定住エコタウン事業ということになります。団地内の道路融雪については昨年の冬から稼働していますが、大雪の時にでも時間が経てばすべて解けてしまいますので除雪の必要がありません。

燃料となる薪ですが、この西目屋村は昔、弘前市の燃料供給基地でした。春先に雪解けで増水した川に木を流し、それを今の「樋の口」に揚げ、乾燥させて薪にしていた訳です。元々木を切つて、それを生業にしていた村で、昭和に入ってから「目屋炭」が大産業となりました。その林業にも二度光

西目屋ブランドを高める

小学校がブナコ工場に

——旧西目屋小学校校舎をブナコ工場に転用されました

関村長 まず、小学校校舎が空いた経緯としては、弘前市に中学校教育を事務委託し、村内の中学生全員を弘前市立東目屋中学校に通わせることになりました。事実上の統合ということになります。それに伴い、既存の中学校校舎を小学校として利用すること

を当てたいとの思いがありました。

今ではリンゴや稲作もしていますが、我々の先祖の多くは山の仕事をしました。故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知る。もう一度木を切る、造林するといったものに着目し、産業として復活させたいと考えたのが木質バイオマスに取り組みきっかけです。

道の駅に入っている「弘前コーヒー スクール」で提供する「コーヒーも目屋炭で焙煎しています。こういう歴史があつてこの村が成り立ってきたのかというところに光を当て、全く新しいものをやるというよりも、つながりのあるもの、身の丈にあったもので地域おこしをやっていくということです。

になり、小学校校舎が空いた訳です。

この取り組み自体は、子供が居なくなつたからという訳ではなく、10年、20年先を見据えたもので、全国的にも例の少ない少子化対策の成功事例だと思っています。そして、それにより空いた校舎をどうするかとなつた時、ブナコの倉田昌直社長に「西目屋でやってみませんか」と声をかけたところ実現しました。ブナコのマーケットは主に欧米ですが、倉田社長曰く、欧米人と

いうのはすごく自然を大切にすることと、ここで、このシチュエーションにあるブナコの工場は素晴らしいと評価されています。

豪華寝台列車「TRAIN・SUIITE四季島」の体験コースにも

津軽ダム建設をチャンスに

ダムツーリズムが好評

——津軽ダムを活用したダムツーリズムも大変好評です

関村長 国直轄の津軽ダムが建設されることになり、これから本体着工を迎える事業最盛期の村長としてまず考えたのは、造つたあとにダムを建設して良かったと思われるような地域にしていかなければいけないということ。

水陸両用バスも思い切つて作りましたが、これは採算性というよりも人が来てくれる呼び水になればいいと考えました。運航を開始して3年目ですが利用者が4万人に手が届きそうなところまでできています。それに加えて

道の駅のリニューアルも行いましたので、相乗効果により商品によつては前年比2倍の売り上げになっています。新しくなつた道の駅では、目屋炭を使って焙煎するコーヒーや、目屋のは

なるなど非常に注目を集めており、ブナコ工場が西目屋にあるということ、は「このブランドになっています。世界自然遺産の村にブナコの工場があるというストーリーが大切なのだと思います。

ちみつを使ったアイスクリームが大変好評です。それに加え今後はワイン、シードルも開発することになっていま

す。これも村独自でやるのではなく、西目屋でチャレンジしたいという民間企業が努力しながらPRしていくことで相乗効果が生まれる訳です。

実は、さらにその先の展開として「ジビエ」、熊肉の加工施設も作ってきたいと考えています。村には古くからマタギ文化がありますので、あるものを活用して産業にするためのチャレンジです。陽の当たらない辺境の村ですが、無理をするのではなく、自分達で価値のあるものを探していくことが大事だと思っています。

これまでもさまざまな取り組みをしてきましたが、それはやはりダム建設によつてもたらされた補償金などを上手く活用したことによるもの。ダムを造つて地域が廃れるようなことは

たくありませんでした。予算も使いましたが、費用対効果で考えれば上手くいっていると思います。

ただ、これからのことを考えれば辛抱するところは辛抱していかなければなりません。村の財政も家計と同じで思い切つて使う所は使う、我慢するところは我慢する。いわゆる選択と集中でやるべき事業を積極的に展開していきたいと思っています。

——最後に新年に向けての抱負をお願いします

関村長 令和という新しい時代に入つて2年目になりますが、時代というのはさまざまに変化していくもので、その変化に対応していくことも大切なことだと思っています。そして、その時代の変化に対応しながら、地域に住む人たちが自信と誇りを持って生きていく。そういう地域にしていけることが私の務めですので、その大切な部分を見失わずに頑張っていきたいと思っています。

——長時間にわたりありがとうございました

白神のまなびやより

たしろ保育園

今年の冬はとても穏やかで、毎年、保育園の庭に連峰のごとくそびえ立つ雪山が、全く姿を見せていません。たくましく駆け上る様子が見られず、ちょっと寂しい冬景色です。これらが、「ゆぎっこ」ふるんだべが〜。

令和元年12月25日、保育園児と児童クラブ合同クリスマス会を楽しみました。児童クラブからは、縄跳びが披露され、学年が進むにつれて難しい跳び方があるのを目の当たりにして、園児は驚くばかり。迫力ある演技格好良かったです。また、〇×クイズは西目屋小学校の事が出題されて、そうだったのか〜とても勉強になりました。そして、児童クラブと保育園の先生方による寸劇は子ども達から大絶賛を受けました。じょんず過ぎですその演技♪最後に、児童クラブのお兄さんお姉さん達から、園児一人一人に手作りカードがプレゼントされて感動あり、笑いあいの楽しい合同クリスマス会を終える事ができました。

令和2年1月10日、保育園児と児童クラブによる「初釜」がありました。たしろ保育園の一室で、本格的に体験。お抹茶の戴き方など聞きながらとても緊張した時間だったようです。スーッと背筋が伸びた、心地よい一日でした。

〜ふねばふね ふればふったで しゃべられるゆぎ〜



西目屋小学校

西目屋小学校では3〜6年生の総合的な学習の時間に、西目屋村や白神山地について学んでいます。3年生は、地域の方の力をお借りして、西目屋村の名所を巡ったり、目屋豆腐の作り方を教えてもらったりしています。4年生から6年生は、NPO法人つがる野自然学校の谷口さんと一緒に、白神山地の自然について調べたり、自然を守るために、自分たちにはどんなことができるのかなどを学んだりしています。また、1、2年生も生活科の時間に、学区を探索するなど、西目屋村を知る活動を取り入れています。このように、西目屋小学校の子どもたちは6年間の小学校生活を通して、さまざまな体験を通し、たくさんの人々とふれあいながら、自分たちのふるさと西目屋村について深く学んでいます。自分のふるさとについて深く考える学習を通して身に付けた力が、子どもたち一人一人の生きる力につながっています。

西目屋小学校は、地域の皆さまに支えられて、日々の教育活動を行っています。これからも、子どもたちの健やかな成長のために、地域の皆さまのお力を貸していただけたいと思います。よろしく願います。

西目屋小学校の玄関ホールに「読書の木」ができました。この木には子どもたちのおすすめの本の書かれた花びらや葉っぱがたくさん貼られています。

本校では読書活動を推進しています。「読書の木」はその活動の一環です。この活動を通して、子どもたちがたくさん本と出会ってほしいと思います。



食育キャラクター
キャラクター賞

白神山菜そば太郎



作者 滝吉 琉泉

大豆は味噌、醤油、納豆、豆腐、きな粉など、和食を代表する調味料や食材に加工されており、私たちの食生活を支えています。特に納豆や豆腐は、消化吸収がよく、大豆そのものの栄養が凝縮されています。毎日の食事に取り入れましょう。



大豆の健康効果
・オリゴ糖…腸内環境を整える
・イソフラボン…骨粗しょう症の予防、更年期症状の緩和
・レシチン…血中コレステロールの低下作用、脳の活性化
・サポニン…動脈硬化予防

2月3日は節分です。節分といえば豆まき！北海道や東北地方では豆まきに落花生が用いられることが多いようですが、一般的に豆まきに使用するのは大豆です。大豆は豆類のなかでも、良質なたんぱく質を豊富に含んでおり、「畑の肉」とも呼ばれ、栄養的には肉や魚と同じ分類です。健康の維持・増進に役立つ大豆パワーをご紹介します。

大豆パワーで健康に！



民生委員・児童委員及び 主任児童委員のお知らせ

民生委員・児童委員及び主任児童委員の改選により、委員及び担当地区が次のとおりとなりましたのでお知らせします。

【民生委員・児童委員】（敬称略）

三上 文子（杉ヶ沢田代）

田澤 紀子（田代）

竹内 元子（田代）

熊谷 孝夫（白沢・大秋）

坂田 千帆（村市・村元）

工藤 正子（藤川・居森平）

【主任児童委員】

田村 由美子（村内全域）

成田 禮子（村内全域）

【任期】

令和元年12月1日～

令和4年11月30日



国保運営協議会委員へ 委嘱状を交付

西目屋村国保運営協議会委員の方々に、関村長から委嘱状が手渡されました。

国保運営協議会委員は、村の国民健康保険の運営や被保険者の利害に関する事項など、国保の適正な運営に欠かせない重要な委員となります。

任期は令和元年12月1日から令和4年11月30日の3年間となります。



社会福祉協議会 だより

お知らせ

教育支援資金の貸し付け
～お早めにご相談ください～

社会福祉協議会では低所得世帯に対し、教育資金でお困りの方に次に掲げる経費の貸し付けを行っています。

また、相談により解決策のご提案や制度の紹介等をいたします。

必要と思われる方は、お早めにご相談ください。

●教育支援費：高等学校、大学又は高等専門学校等に修学するのに必要な経費。（授業料、定期代等）

・貸付限度額

高校 月3万5千円以内

高専 月6万円以内

短大 月6万円以内

大学 月6万5千円以内



●就学支度費：高等学校、大学又は高等専門学校等への入学に際し必要な経費。（入学金、制服、教科書代等）

・貸付限度額 50万円以内

※貸付利子は、教育支援費及び就学支度費ともに無利子です。

問い合わせ・申込先

社会福祉法人

西目屋村社会福祉協議会

090-222-2225

【受付】平日午前8時15分～午後5時
Mail: nishishakyo@wine.ocn.ne.jp

消防だより

「住宅用火災警報器」 設置していますか？

住宅火災からみなさんの尊い生命を守るために、平成20年から住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、11年が経過しました。最近、住宅火災で亡くなる方が後を絶ちません。今後も高齢化社会の進展とともに、住宅火災で亡くなる方がさらに増加するおそれがあります。

当事務組合管内では、住宅用火災警報器を設置したことにより、「火災を未然に防ぐことができた」、また「火災による被害を最小限に抑えることができた」という事例がたくさん報告されています。まだ設置していないお宅がありましたら住宅用火災警報器の早めの設置をお願いします。

また、消防職員は「消火器、住宅用火災警報器」などの訪問販売をすることは絶対にありませんので、悪質な訪問販売に十分注意して下さい。

目屋分署管内 出動状況

令和元年12月末現在

	救急	火災
件数	12	0
累計	113	5
	救助	遭難
件数	1	0
累計	4	0

西目屋村農業委員会 九州視察研修

●視察の目的

西目屋村農業委員会では令和元年11月29日から12月2日まで青果市場調査と県産りんごの評価、先進地の農業経営手法やスマート農業等を学ぶため九州地方への視察研修を行いました。

視察先は、つがる弘前農協の取引先である福岡大同青果株式会社で、県産りんごの価格や流通状況、セリの様子等を視察しました。また日本最大規模の農事組合法人熊本すずかみ農場も視察し、先進農業やスマート農業について研修を受けました。

●研修先の概要

福岡大同青果株式会社では、青果専門のベジフルスタジアムで全国各地から集められた野菜、果物が所狭しと並べられ、次々とセリにかけられていました。青森県産りんごは年間40万～45万ケースを扱っていて、昨年は早生種、中生種のりんごの売れ行きがあまりよくなかったため在庫を抱えていた時期もあったとのことでしたが、今年は品質も良く売れ行きがとても好調であるとのことでした。また無袋りんごや葉とらずりんごも徐々に浸透してきているものの、主力となるのは見た目の良い有袋りんごであり高値でも需要があるとのことでした。

農事組合法人熊本すずかみ農場は、13の集落営農組合が統合した農事組合法人で、約500ヘクタールの水田で米、麦、大豆等の栽培を行っておりました。日本最大規模の農事組合法人ということもあり、雇用人数も多いかと思っておりましたが、常時雇用人数は20名ほどであとは臨時雇用だということでした。広大な面積に対し、少数の常時雇用人数で対応できるのは、スマート農業のおかげだとのことでした。例えば、スマートフォンやタブレットでその日作業を行う農地の地図に赤色で色付けを行い、作業が終了したら青色、耕起まで終わったら黄色に変えるというように誰が見てもわかりやすい情報を共有することで作業の効率化に繋がったという事例や、食味センサー付きコンバインと連動させることで、収穫しながら米の食味をチェックし、『この農地はもう少し肥料が多めのほうが良い』などの情報が記録されるため、次の年の作付計画の精度向上に繋がるのだと説明していただきました。

今回の視察を通して、青森県産りんごの需要の高さを再確認したとともに、葉とらずりんごや無袋りんごも徐々に定着していることを実感しました。また、農家の高齢化によるベテラン農家の離農や担い手不足が深刻な西目屋村農業には、誰が見ても誰がやってもわかるシステムづくりを前提としたスマート農業の導入は省力化や若手新規就農者の獲得などに期待できるのではないかと感じました。

●総括

この度の研修では各委員が明確な目的意識を持ち、県産りんごの流通、村農業の活性化に向けた優良事例を視察してまいりました。当村の農業事情を踏まえると、現在村が推進している営農組織の統合によって農地の受け皿となる組織の強化を図り、そのうえで今回視察した先進農業を取り入れることで村農業の発展につながると感じました。

最後に大変有意義な研修ができたことを、関係各位の皆さまに感謝申し上げます。研修の報告とさせていただきます。



オリンピックイヤーの年となり、外国から大勢の人がオリンピック観戦で日本に来ますので、この機会に世界自然遺産白神山地をもっと知って足を運んで頂く為に、オープンに向けて新たな取組みや外国人向けのプランも構築し、オリンピックイヤーの波に乗って昨年以上に盛り上げて行きたいと考えております。

その為にも早くからスタッフの確保と勉強会等を実施し来て頂いたお客様(外国人を含む)に白神山地の「おもてなし」をしたいと思えます。



白神だより
アクアグリーンビレッジ
ANMON

西目屋 いきいき健康広場

今月のいきいきポイント① COPDって知ってますか？

COPDとは、慢性閉塞性肺疾患という肺の病気で、たばこの煙などを長期間吸い込むことによって、肺の中の「肺胞」という組織が壊れたり、気道に炎症が起きたりして、呼吸機能に支障をきたす病気です。

主な症状は、せきやたん、息切れなどです。ありふれた症状で、ゆっくり進行するため、身体の異常に気が付きにくいまま重症化します。重症化すると、日常生活が制限されたり、酸素吸入が必要になったりするなど、大変な苦痛を伴います。一度壊れた肺胞は元に戻らず、完治はしないため、早期発見・早期治療が重要です。

今月のいきいきポイント② 健康長寿で生涯現役の村づくり進行中！健康推進特別事業のお知らせ

生活習慣病が良くないことは知ってるけど、どうして毎年継続して健康診断を受ける必要があるのか？今一度、自分の体のことについて考えてみませんか？

部位別の脂肪量と筋肉量がわかる「高精度体成分分析測定検査」に加え、今年度は新たに脳の健康度を見ることが出来る「脳活動測定器」、野菜の摂取充足度がわかる「ベジチェック測定」を無料で実施します！18時30分まで受付していますので、仕事帰りにぜひご利用ください。

さらに、特別講演として、沢田内科医院 澤田美彦先生と女子栄養大学生涯学習講師 新井麻子先生をお呼びしておりますので、ぜひご聴講（ご参加）ください。

また、管理栄養士による個別栄養相談・保健師による個別健康相談も実施しています。

自分の健康状態を知る大切さ、そして、生活習慣病の予防や改善するためのポイントを知り、ぜひ、来年度も健康診断（無料）を継続して活用するようにしましょう！申し込みは毎年3月中に保健協力員等がご自宅にお伺いします。

※ひとりで悩まないで、まずは相談してください。

住民課 保健師/成田・飛内 地域包括支援センター 三上 ☎85-2804

次のような症状がある人は、一度かかりつけ医や呼吸器専門医に相談しましょう。

- ①同世代と比べて、息切れしやすい。
- ②階段を上るときなど、すぐ息切れする。
- ③風邪でもないのに、せきやたんがよく出る。
- ④休み休みでないと、歩くのがつらい。

(※)40歳以上で喫煙している人、喫煙歴がある人は、特に注意が必要です。

日時 令和2年2月21日(金) 場所 中央公民館 大研修室

内容 特別講演① 13:50～14:50

講師:女子栄養大学生涯学習講師
新井麻子 先生

『糖尿病予防・改善のための食習慣』

特別講演② 15:00～16:00

講師:澤田美彦 先生

『健診結果の活用方法と

基本的な生活習慣病について』



特設コーナー 13:00～最終受付18:30
(※ただし、13:40～16:10頃は実施しません)

- ①高精度体成分分析測定検査 ②脳活動測定(新規)
- ③野菜摂取充足度測定(新規) ④個別栄養相談(管理栄養士対応)
- ⑤個別健康相談(保健師対応)⇒できれば健診結果(血液検査表)等をご持参ください。
- ⑥個別運動相談(健康運動指導士対応)⇒**昨年度も大変人気がありました!!!**

教育委員会からのお知らせ

●就学援助費の交付申請について

西目屋村では、経済的理由により就学が困難な児童がいる家庭に対し、児童が安心して勉強できるよう学用品費・給食費などを援助しています。

この制度を利用するには、家庭の所得状況等の確認をする必要がありますので、事前に教育委員会へご相談ください。

また、申請用紙は教育委員会にありますので、本年4月から希望される場合は、令和2年3月13日(金)までに関係書類の提出をお願いいたします。

●西目屋村奨学生の募集について

村では、令和2年4月から奨学金の貸し付けを希望される方の募集を下記のとおり行います。

1 対象者

高等学校以上の学校に在学する優秀な生徒又は学生のうち、経済的理由により就学困難と認められる者。

2 貸付額

(1)高等学校又はこれと同程度の学校に在学している者。

月額 15,000円(限度額)

(2)大学院、大学、短期大学、専門学校またはこれと同程度の学校に在学している者。

月額 50,000円(限度額)

3 返還方法

貸与を受けた金額を卒業1年後から10年以内に本人の希望により一括、半年賦又は年賦で返還していただきます。

4 貸付利息

無利息です。

5 申込み方法

貸し付けを希望される方は、令和2年3月13日(金)までに次の書類を教育委員会に提出してください。

- (1)奨学生願書(教育委員会に備え付け)
- (2)奨学金借用証書(教育委員会に備え付け)
- (3)学業成績証明書
- (4)所得課税証明書(同一世帯全員分)
- (5)在学証明書(4月1日以降4月末までに提出)

6 決定

教育委員会では審査の上、決定します。

問い合わせ先 教育委員会学務係 ☎85-2858

お知らせ

村から皆さんへの
大切なお知らせです。

問 お問い合わせ

自動車の名義変更・廃車手続き及び車検はお早めに！
(車検は1ヶ月前から受けられます。)

例年3月は、名義変更(移転登録)・廃車(抹消登録)・住所変更等(変更登録等)・車検(継続検査)の手続きで、運輸支局及び事務所の窓口は大変混雑します。特に3月中旬頃から月末にかけて徐々に待ち時間が長くなり申請者の皆さんに大変ご不便をお掛けしております。

また、車検(継続検査)は1ヶ月前から受けつけることができますので、3月下旬に集中しないようお早めに受検していただくようお願いいたします。

ユーザー車検については、インターネット検査予約サイト等により検査予約ができます。予約操作についての問い合わせは、自動車検査予約ヘルプデスクでお答えしておりますのでご利用ください。

問 東北運輸局青森運輸支局

医療費通知について

050-5540-2008
自動車検査予約ヘルプデスク
0570-030-330

国の税制改正により、平成30年1月1日から医療費通知を確定申告に活用できるようになりました。広域連合からお送りする医療費通知には自己負担相当分を記載していますので、確定申告時の医療費控除にもご活用いただけます。

なお、対象となる期間が平成31年1月診療分から令和元年12月診療分となることから、通知書がお手元に届くのは令和2年2月末頃となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

問 青森県後期高齢者医療広域連合

0177-21-3821

お薬代の負担軽減について



ジェネリック医薬品に切り替えるとお薬代が安くなる可能性がある方へ、「お薬代負担軽減のご案内」を2月に送付し、どのくらい安くなるかお知らせします。ジェネリック医薬品の利用を希望する方は、医師や薬剤師にご相談ください。

問 青森県後期高齢者医療広域連合

0177-21-3821

令和元年分所得税・令和2年度村県民税の申告について

申告期間 令和2年2月17日(月)～令和2年3月16日(月)

令和元年分所得税・令和2年度村県民税の申告が始まります。

申告は、村県民税や国民健康保険税の村税、介護保険や後期高齢者医療保険の保険料を算出するための基礎資料となります。また、福祉関連事業の料金算定、軽減・支給判定などの基となる重要な手続きです。

忘れずに申告にお越しくくださるようお願いいたします。日程など詳しいことは毎戸配布のチラシをご覧ください。なお、申告にあたっては各地区での混雑防止のため農業・営業・不動産・譲渡所得等のある方は、役場で申告されるようご協力をお願いします。

〈ご注意ください〉

確定申告書にはマイナンバーの記載が必要になります。申告の際はマイナンバーカードまたはマイナンバー通知書のほか、免許証・保険証などの身分を証明するものを忘れずにお持ちください。

〈医療費控除の明細書の添付義務化〉

平成30年度(平成29年分)から、医療費控除を受けようとする場合に申告書に添付する書類が、領収書に代えて「医療費控除の明細書」となっています。経過措置として令和2年度(令和元年分)までは領収書の添付・提示とすることも可能ですが、令和3年度(令和2年分)の申告から医療費控除を申告する場合は明細書の作成・添付が必要となります。

〈村税の納期限内納付を〉

2月は村県民税第4期分と国民健康保険税8期分の納期月(納期限2月28日)です。納付が遅れると延滞金が増加されますので、忘れずに納期限内に納めてください。



問い合わせ先

税務会計課 ☎85-2805

Information

戸籍の窓 12月届出分 (敬称略)

おめでとう

三浦 銀心 (崇行・愛菜) 田代 男

おくやみ

佐藤 キヨエ (91) 田代
西澤 ちさ (93) 杉ヶ沢
澤田 カシ (101) 大秋

R1.12月末

現在

村の人口

()は前月比

男性: 642人 (0)
女性: 717人 (-5)
合計: 1359人 (-5)
世帯数: 558世帯 (-2)

- ① リンゴ黒星病の感染危険度の判定方法
- ② リンゴの授粉及び果実肥大に関する最新研究
- ③ シャインマスカットの省力果房管理技術
- ④ 今年話題のいろいろリンゴ病害虫について
- ※りんごの試食も行います。是非お越しください。
- 問 りんご研究所
522331

青森県産業技術センター
りんご研究 令和元年度
試験成果・情報発表会● とき 令和2年2月18日(火)
午後1時30分～午後4時

● 場所 平川市文化センター

「文化ホール」

● 内容

① リンゴ黒星病の感染危険度の判定方法

② リンゴの授粉及び果実肥大に関する最新研究

③ シャインマスカットの省力果房管理技術

④ 今年話題のいろいろリンゴ病害虫について

※りんごの試食も行います。是非お越しください。

問 りんご研究所
522331小さな掛金、大きな補償
スポーツ安全保険に加入しよう

スポーツ安全保険とはスポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動などを行う社会教育活動の(4名以上の団体)を対象とした保険です。

【対象となる事故】

団体活動中、往復中の事故。
(自動車事故による賠償責任保険は適用外)

【補償内容】

傷害保険(入院、通院、後遺障害、死亡)、賠償責任保険、突然死葬祭費用保険。



【加入受付期間】

令和2年3月2日～令和3年3月31日午後12時まで(令和2年4月1日以降に加入手続きをした場合は、翌日の午前0時から令和3年3月31日午後12時まで)

【掛金】

一人年額800円～11,000円
(団体活動内容、年齢などによって異なります。)

問 スポーツ安全協会青森県支部
0177181136

し尿くみ取り料金改定
のお知らせ

し尿くみ取り料金が変更になります
人件費・燃料費の高騰や、し尿収集

世帯の減少などを受け、令和2年4月1日より新しいし尿くみ取り料金が適応されます。料金の改定は平成9年4月以来、23年ぶりです。

村民の皆さまには、これからも安定的にし尿の収集運搬を続けていくため、ご理解とご協力をお願いします。改定後の新しい料金は左表のとおりです。

なお、村のし尿くみ取り業務は、村が許可した事業者が収集運搬を行っています。くみ取りの申し込みをする場合は許可業者までお申し込みください。

【新料金】(消費税を含む)

区 分	改定前 3月31日まで	改定後 4月1日から
常設トイレ基本料金 180ℓまで	1,320円	1,760円
常設トイレ超過料金 10ℓごと	73.33円	97.8円
仮設トイレ基本料金 360ℓまで		3,520円
仮設トイレ超過料金 10ℓごと		97.8円

問 【し尿収集運搬許可業者】

弘前市大字向外瀬字豊田3571
(株)津軽衛生公社
03733338

農業集落排水に
加入しましょう

農業集落排水(下水道)は、水環境の悪化により生態系などに様々な影響を及ぼす生活排水を集めて、きれいな水に処理することによって、農業用排水及び河川の水質改善を図り、快適な生活が送れるようになります。

排水設備工事や水洗便所改造工事をする場合は、役場建設課(08502800)までご連絡ください。



Next innovation
会社が培った情報という財産を次の時代に活かす。

ACS 株式会社 青森電子計算センター

■本 社／青森市内三内丸山393-270(西部工業団地内)
TEL. 017-761-5301

■弘前営業所／弘前市大字神田3-2-3(角弘前支店2F)
TEL. 0172-35-0882

ホストタウンって 何のことか 知っていますか？

2019年春頃から「西目屋村がイタリアカヌースラロームチームのホストタウンとして決定しました!!」と耳にすることが多くなっていますか？

イタリアは国として皆さんご存じかと思いますが、カヌーも西目屋村の皆さんはご存じかと思えます。でも、ホストタウンって何？と思いませんか？

ホストタウンとは東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツ立国、グローバル化推進、地域活性化、観光復興に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な経済交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」とする国の事業です。

オリンピックでいい成績を残すために事前合宿に来る各国の選手と、オリンピック選手と交流したい私たちにとっては「待つてました!」な事業というわけです。

以前から交流のあったロンドンオリンピックカヌースラローム競技金メダリストでもあるイタリアカヌースラロームチーム監督のダニエ・モルメンティさんとの調整の末にイタリアカヌーチームの事前合宿地として西目屋村を選んでいただき、ホストタウンとして決定いたしました。



この機会を通じて村民の皆さんにカヌーやオリンピックはもうろんのこと、相手国の事を知り、イタリア語を行ってみたい、イタリア語を勉強したい、自分も世界で活躍したいと思うきっかけになって欲しいです。それだけでなく、西目屋村を相手国や世界に知ってもらい、日本にもこんなに自然豊かですばらしい村があるのだということのアピールするきっかけにしていきたいです。

西目屋村とイタリアカヌースラロームチームの場合は目屋深谷岩木川カヌー競技場が整備されているので、相手国選手にとっては東京オリンピックコース合宿に入る前の事前合宿として来村してもらい、この合宿中にできるだけ多くの方と交流ができる時間を選手のトレーニングに影響のない程度に開催する予定です。

オリンピック本番で日本を応援したらいのイタリアを応援したらいいのかもしれないと迷ってしまう日が皆さんには迫っていますよ!!



令和2年 弘前市・西目屋村 消防団出初式

1月13日に弘前市・西目屋村消防団出初式が行われました。

土手町通りで行われる第1式場では、本村消防団員約30名が参加、大勢の観客が見つめるなか、人員服装点検や機械点検、まとい振り演技、分列行進を行い、今年も安心・安全な村づくりに向け、消防団員一人ひとりの士気が高められました。

弘前文化センターで行われた式典では、長年の消防団活動の功労が認められ、本村消防団員2名に西目屋村消防団長表彰が贈られました。

〔西目屋村
消防団長表彰〕
(敬称略)
成績賞
平田 凌(団員)
小山内 悠平(団員)



第26回 乳穂ヶ滝氷祭の開催

日時 2月16日(日) 10:45~

会場 乳穂ヶ滝会場 白神館会場

内容 【乳穂ヶ滝会場】 10:45~

- ・参拝行列
- ・神事式(豊作祈願及び占い)
- ・甘酒ふるまい・売店

【白神館会場】

- ・登山ばやし奉納
- ・ステージショー・お楽しみ抽選会

※来場者には、ビーチにしめや
農産物直売所の5%割引券をプレゼントします。

●村内運行バス

- 10:15発 大秋・居森平 → 乳穂ヶ滝会場
- 12:15発 乳穂ヶ滝 → 白神館会場 → 大秋
- 12:20発 乳穂ヶ滝 → 居森平
- 12:40発 大秋・居森平 → 白神館会場
- 15:15発 白神館会場 → 大秋・居森平

●ライトアップ

2月1日(土)~2月16日(日) 16:30~22:00

※結氷状況によっては、ライトアップ期間を変更する場合があります。

問い合わせ先 目屋観光協会(産業課内) ☎85-2800

編集 後記

今年も出初式の取材に行ってきました。消防団の勇姿を近くで見れて気が引き締まる感じでした。

年々雪が降る量が少なくなっている気がしますが、2月に入っても風邪を引かずに頑張りましょう。

火災が無く皆さまが過ごせるように...

